



壺中モ1第 5026 号

平成28年4月20日

文部科学省初等中等教育局  
国際教育課長 殿

外務省アジア大洋州局

中国・モンゴル第一課長



青少年交流事業「JENESYS 2.0（中国高校生  
招へい）」に関する協力依頼について

当省が平成25年より実施している青少年交流事業「JENESYS 2.0」に際しましては、貴省及び各都道府県教育委員会等の多大なる御協力を賜り、感謝申し上げます。

本事業については、これまでも貴省へ御連絡しているところですが（平成27年2月24日付壺中モ1第2289号）、中国につきましては、年間1,100名規模の高校生招へいを引き続き実施していく予定であり、今般、4月以降の招へい事業の日程案を作成しました（別紙1～3）。従来と同様に高校での青少年交流行事等を考えておりますところ、貴省におかれましては、各都道府県教育委員会等に対し、本事業の概要及び受入れに関する調書への回答協力について周知いただくとともに、今後、実施団体から各高校等に対し具体的な受入れの可能性等を打診させていただくに際し、御協力を呼びかけていただけるようお願い申し上げます。

なお、調書につきましては、受入れが困難な場合であっても、6月17日（金）までに当省アジア大洋州局中国・モンゴル第一課まで御回答いただきますよう各都道府県、教育委員会等に対して御案内いただければ幸いです。

付属添付

〈中国高校生 短期招へい事業〉

1. 主管団体：公益財団法人日中友好会館
2. 来日時期：  
外務省が推進する「JENESYS2.0」の一環として実施する中国高校生訪日団は以下の通りです。
  - ① 2016年度中国高校生訪日団第1陣 250名  
2016年 9月11日(日)～ 9月19日(月) ※1陣は調書の対象としません。
  - ② 2016年度中国高校生訪日団第2陣 250名  
2016年 10月25日(火)～ 11月2日(水)
  - ③ 2016年度中国高校生訪日団第3陣 250名  
2016年 11月8日(火)～ 11月16日(水)
  - ④ 2016年度中国高校生訪日団第4陣 250名  
2016年 12月6日(火)～ 12月14日(水)
  - ⑤ 香港・澳門高校生訪日団 101名  
2016年 12月13日(火)～ 12月21日(水)※⑤の澳門高校生の招聘については、現在調整中のため、香港高校生のみになる可能性があります。
3. 依頼内容：  
学校交流(高等学校訪問)  
訪問時間：原則として終日交流を希望しますが、午後のみ半日交流でも可。  
内 容：日本高校生との交流会、授業参加、部活動参加等  
受け入れ人数：運営・管理の都合上、1校当たり30名の受け入れを基本とします。  
1校当たり30名の受け入れが難しい場合、1校当たり15名の受け入れでも可とします。  
※実際の受け入れ人数は引率を含め若干名増加する予定です。  
※訪問の際は、各校に通訳を最低1名派遣します。  
※訪問する中国高校生は英語が堪能な生徒を選抜しています。  
※訪問する中国高校生は男子生徒と女子生徒どちらも含まれます。  
※移動、宿泊の手配については、(公財)日中友好会館または同公益財団が委託する実施団体が行います。
4. 経費：本交流に関わる経費は、主管団体が負担いたします(但し、支払い制限有り)。  
詳細につきましては、実施の段階でご案内致します。
5. 連絡先：公益財団法人日中友好会館 総合交流部  
行平 紀子、堀口 努  
〒112-0004 東京都文京区後楽 1-5-3  
TEL：03-5800-3749 FAX：03-5800-5472  
E-MAIL：yukihira@jcfc.or.jp(行平)、horiguchi@jcfc.or.jp(堀口)  
  
※別紙データ(別紙1～3)が必要な場合は上記5の連絡先担当者までご連絡ください。

以上

外務省では「JENESYS2.0」の一環として、今年度(平成28年度)に中国から高校生約1,100名を招へいし、日本各地で学校交流等を含む交流を計画しています。

同事業は8泊9日の日程の短期招へい事業です。東京で公式行事を終了した後、各分団に分かれて交流を行う予定です(委託機関:公益財団法人日中友好会館)。

お受け入れ頂きたい箇所は下記日程案の学校交流(高等学校訪問)です。学校交流以外(移動、宿泊)の手配に関しましては、委託機関である(公財)日中友好会館または同公益財団が委託する実施団体が行います。受け入れの人数は運営・管理の都合上、1校当たり、30名(引率を除く)を基本として下さいますようお願いいたします(但し、1校当たり15名でも可)。受け入れ依頼時期、受け入れ依頼人数の調整につきましては、委託機関である(公財)日中友好会館担当者より、貴都道府県・指定都市・国立大学法人ご担当窓口へ直接ご連絡させていただきます。

公立高等学校につきましては各都道府県・指定都市教育委員会、私立高等学校につきましては各都道府県知事部局、国立大学法人附属高等学校につきましてはその国立大学法人にて、学校交流受け入れ可能な人数・時期等を取りまとめ頂き、お受け入れ可能な時期・人数、担当者名及び連絡先を別紙2-1、2-2にご記入ください。詳細は「学校交流受け入れにかかる詳細」欄にご記入ください。また、ご希望、ご感想、ご要望等があれば、ご記入願います。

なお、学校交流の受け入れを全日程希望しない場合でも、その旨、ご回答頂きたく、お願い申し上げます。お手数ですが、ご協力のほどよろしくお願い致します。

陣名	招へい 人数	全体日程						学校交流受入日程				受け入れ 希望	受け入れ 可能人数	
		月	日	曜	月	日	曜	月	日	曜				
									<記入例>					
									①	10	28	金	○	90名
									②	10	31	月	○	30名
2016年度 中国高校生訪日団 第2陣	250名	10	25	火	～	11	2	水	①	10	28	金		
									②	10	31	月		
2016年度 中国高校生訪日団 第3陣	250名	11	8	火	～	11	16	水	①	11	11	金		
									②	11	14	月		
2016年度 中国高校生訪日団 第4陣	250名	12	6	火	～	12	14	水	①	12	9	金		
									②	12	12	月		
香港・澳門 高校生訪日団	101名	12	13	火	～	12	21	水	①	12	16	金		
									②	12	19	月		
計														

\* 澳門高校生の招聘は調整中のため、香港高校生のみになる可能性があります。

\* 8泊9日間の日本滞在中に2回の学校交流を予定しています。

\* 各日程複数校希望がある場合、合計人数をご記入ください。

\* 1校で複数の受け入れ希望日がある場合は、その全てをご記入ください。

<p>学校交流 受け入れにかかる詳細(任意)</p>	<p>受け入れ校数、学校名、各校受入人数、各校受入希望日等、可能な範囲で ご記入ください。(書ききれない場合は別紙添付も可) ※1校当たり30名の受け入れが基本(但し、1校当たり15名でも可)。</p>
<p>その他日中高校生交流事業 全体に対する要望(任意)</p>	

都道府県・指定都市名(必須)	
部署名(必須)	
職名(必須)	
ふりがな 氏名(必須)	
直通電話(必須)	
FAX(必須)	
メールアドレス(必須)	

調書提出先 : 〒100-8919 東京都千代田区霞が関2-2-1 FAX(03)5501-8260

外務省アジア大洋州局中国・モンゴル第一課 担当:石井, 堀切

調書提出期限: 平成28年6月17日(金)

## 平成28年度中国高校生訪日団短期招へい事業 交流日程案

	第2～4陣、香港・澳門		
	曜日	時間	予定
1日目	火	午後	日本着 オリエンテーション
2日目	水	午前	セミナー
		午後	企業の視察・先端技術に関する参観
		夜	歓迎会
3日目	木	午前	地方へ移動
		午後	地方参観 日本文化体験(温泉旅館宿泊)
4日目	金	午前	学校交流①
		午後	
5日目	土	午前	体験プログラム等
		午後	
6日目	日	午前	地方参観
		午後	移動
7日目	月	午前	学校交流②
		午後	
8日目	火	午前	包括的な日本理解に関する訪問・参観もしくは大学訪問
		午後	商業施設視察
		夜	歓送報告会
9日目	水	午前	帰国

\*上記日程案は訪問先によって若干異なります。

\*学校交流以外のプログラムの手配は、(公財)日中友好会館または同公益財団が委託する実施団体が行います。